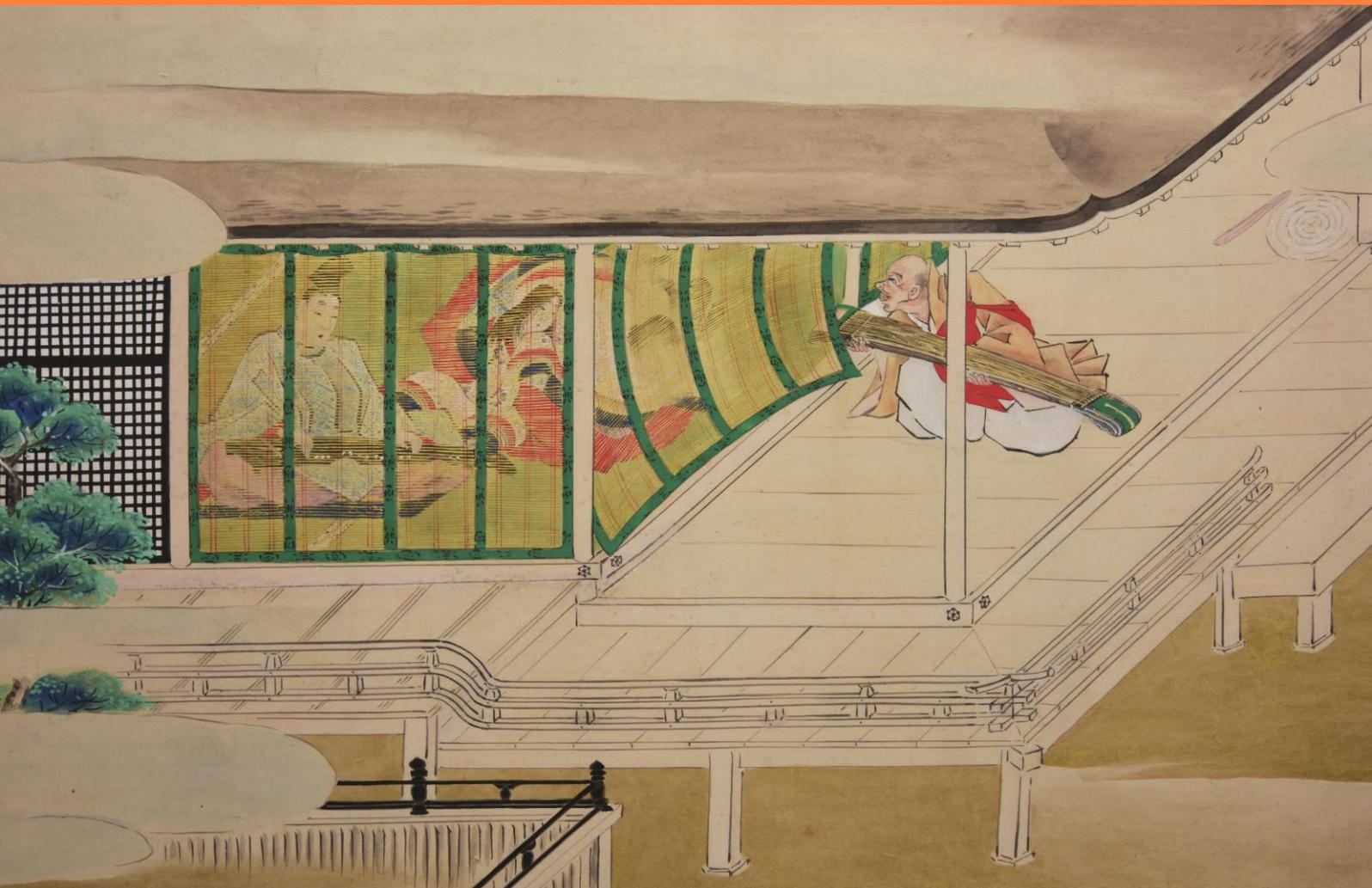


明石市立文化博物館 企画展

藩主忠国が創った

『源氏物語』 遺跡と俳諧文学



第5代明石藩主松平忠国は文学に通じ、文学遺跡として『源氏物語』ゆかりの名所を明石に創設しました。また、『源氏物語』を基にした小説である『修紫田舎源氏』などの草双紙の流行や、明石を訪れた松尾芭蕉をはじめ多くの俳人が俳諧文学を盛り上げるなど、江戸時代の人々にとって文学は身近なものであったことがわかります。

本展では、江戸時代に描かれた源氏物語絵巻明石の巻のほか、明石藩士黒田家資料や明石の俳人たちの作品などを中心に、『源氏物語』の舞台となった明石の名所や、明石からみる江戸時代の文学事情を紹介します。

本展のみどころ

1 『源氏物語』と明石

『源氏物語』明石巻は、明石に下向した光源氏と明石の君の物語である。この場面では、琴を弾く光源氏、箏を差し出す明石入道が描かれる。その後、明石の君が箏を引き、別れを惜しむ場面となる。

2 藩主忠国、『源氏物語』を顕彰する

第5代明石藩主である松平忠国は、『源氏物語』ゆかりの地である明石において、「明石入道の碑」を建立するなどして、物語を偲ぶ名所を創設した。

3 江戸時代における『源氏物語』の流行

明石藩で家老を務めた黒田家より寄贈された資料から、当時の出版文化などを知ることができる。なかには『源氏物語』を室町時代に置き換えた『修紫田舎源氏』や、「源氏絵」と呼ばれる錦絵などがあり、江戸時代の人々にも『源氏物語』が好まれていたことがうかがえる。

4 明石の俳諧文学

古来より和歌などの文学作品に詠まれた名所のことを「歌枕」というが、明石もまたそうした歌枕の一つである。『源氏物語』や松尾芭蕉の俳句によって、明石を訪れる俳人があったばかりでなく、明石の地においても、俳諧が好まれた。地域にのこる資料から、江戸時代における当地の文芸事情について紹介する。

- 1 名 称 企画展明石藩の世界Ⅱ 藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学
- 2 会 期 2024年（令和6年）9月14日（土）～10月14日（月・祝）
※月曜休館（但し月曜が祝日の場合は開館）
- 3 開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）
- 4 会 場 明石市立文化博物館 特別展示室（1階）
明石市上ノ丸2丁目13番1号 電話：078-918-5400
【交通案内】JR・山陽電鉄「明石」駅より北へ徒歩5分
- 5 主 催 者 明石市、明石市立文化博物館、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
- 6 後 援 公益財団法人兵庫県芸術文化協会、公益財団法人明石文化国際創生財団
- 7 観 覧 料 大人200円、大高生150円、中学生以下無料
※20名以上の団体は2割引。
※65歳以上の方は半額。身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロID手帳提示の方と介護者1名は半額。
※シニアいきいきパスポート提示で無料。

8 主な展示資料

第1章 松平忠国と文学の舞台「明石」

- ・源氏物語絵巻明石の巻（丹波篠山市教育委員会蔵）
- ・紫式部図（尼崎市教育委員会蔵）
- ・摂津名所地図（神戸市立中央図書館蔵）ほか

第2章 明石藩士黒田家資料と江戸時代の『源氏物語』受容

- ・『修紫田舎源氏』各巻
- ・源氏双六
- ・歌川豊国「明石ノ浦景」ほか

第3章 俳諧文学と明石の俳人たち

- ・『蛸壺塚』
- ・『笈の小文』
- ・俳諧短冊（個人蔵）
- ・卜部氏系譜之図（個人蔵）
- ・西海千尋肖像（個人蔵）ほか

9 関連事業 ※観覧券が必要です。

- ① 講演会「源氏物語に描かれた須磨・明石と藩主松平忠国」
要申込（定員：80名）
日時：9月16日（月・祝）13:30～15:00
講師：大国 正美氏（神戸深江生活文化史料館館長）
場所：当館2階大会議室
- ② 講演会「明石の光源氏—雌伏の時、栄華への道のり—」
要申込（定員：80名）
日時：9月21日（土）13:30～15:00
講師：村口 進介氏（追手門学院大学文学部人文学科准教授）
場所：当館2階大会議室
- ③ はじめての古文書講座
要申込（定員：40名）
日時：10月5日（土）13:30～15:00
講師：石橋 知之氏（神戸大学大学院人文学研究科学術研究員）
場所：当館2階大会議室
- ④ 講演会「源氏物語への挑戦：明石の君の装束」
要申込（定員：80名）
日時：10月14日（月・祝）14:00～15:30
講師：佐藤 悟氏（実践女子大学文学部教授）
場所：当館2階大会議室

【申込方法】

*8月17日（土）午前10時～前日午後5時まで当館ホームページの申込フォームより先着順。

ホームページから申込できない場合は電話でお問い合わせください。

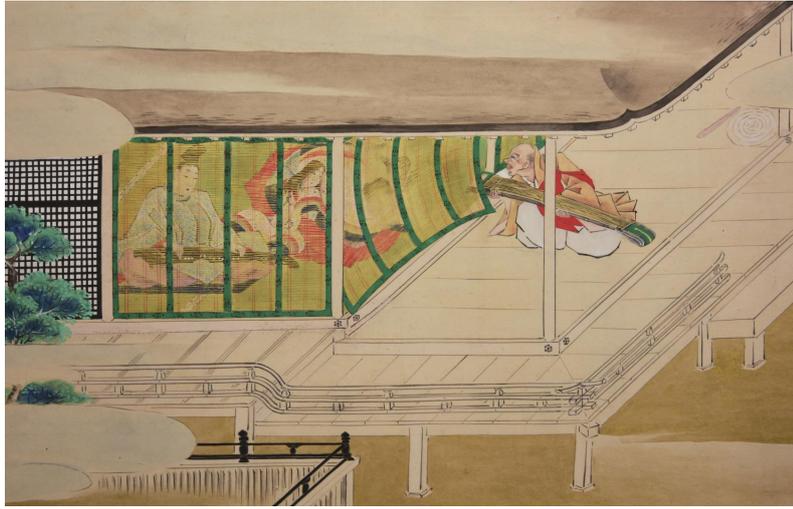
*1グループにつき4名様までの申込とさせていただきます。5名以上のお申込を希望の方は、代表者名を変え、分けてお申しいただくようお願いいたします。

*申込後にキャンセルや人数が減る場合は、電話またはフォームにてご連絡ください。

*各イベントでは、手話通訳者・要約筆記者の派遣が可能です。手話通訳・要約筆記希望の方は、ご連絡ください（直前にお申込の場合は対応できないことがあります）

■■■お問合せ先■■■ 明石市立文化博物館 展示担当学芸員：濱室 / 広報担当：中山
〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号
TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409(9:30～18:30)
Email: press@akashibunpaku.com

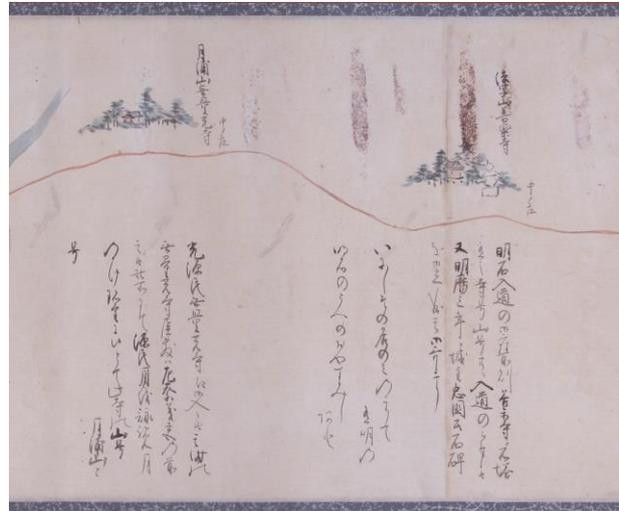
企画展「藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学」の画像データをプレス掲載用にご用意しております。
使用を希望される際は本書面最終頁の別紙、申込用紙にご記入のうえ FAX またはメールで返送をお願いいたします。



1. 源氏物語絵巻 明石の巻 (部分)
江戸時代後期 丹波篠山市教育委員会蔵



2. 明石入道の碑 (善楽寺)



3. 摂津名所地図に描かれた明石入道の碑
寛文7年(1667) 神戸市立中央図書館蔵



4. 〔拝領の記録〕(『修紫田舎源氏』初編～三編)
天保15年(1844年) 当館所蔵黒田家資料



5. 明石の俳人「西海千尋」画像
江戸時代 個人蔵

企画展 明石藩の世界XII

藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡

FAX 送付先 (078)918-5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名様まで)もご用意しておりますので、ご連絡ください。

番号	必要キャプション及びクレジット
1	源氏物語絵巻 明石の巻(部分)(丹波篠山市教育委員会蔵)
2	明石入道の碑(善楽寺)
3	摂津名所地図(部分)(神戸市立中央図書館蔵)
4	[拝領の記録](『修紫田舎源氏』初編～三編)(当館蔵)
5	西海千尋画像(個人蔵)

貴社名		
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
写真到着希望日		
招待券希望枚数	組	名分希望

- ・データの使用は、本展の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
- ・広報用画像にはクレジットを必ず記載してください。複数枚ある場合には、記事内の一カ所、作品全体にかかるように記載してください。
- ・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
- ・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りください。
- ・本展会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。